

2025 年度定時総会



日時： 2025 年 4 月 25 日

場所： 中央大学とオンライン会議のハイブリット開催

議事：

第 1 号議案 「2024 年度事業報告」の件

第 2 号議案 「2024 年度決算報告および監査報告」の件

第 3 号議案 「2025-2026 年度新役員承認」の件

報告： 1 2025 年度事業計画

2 2025 年度収支予算

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

公益社団法人
日本オペレーションズ・リサーチ学会

2024年度 事業報告書

事業番号： 公1 (1本のみ)
事業の内容： オペレーションズ・リサーチの研究・普及啓発を行う事業

【研究発表会・シンポジウム等の開催】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究発表会・シンポジウム等を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 研究発表会

(1) 春季研究発表会

- ・3月7日, 8日, 筑波大学
- ・実行委員長：吉瀬 章子 (筑波大学)
- ・発表件数 134 件, 参加人数 390 名
- ・アブストラクト集発行
- ・特別講演 1：
「民間出身の学外理事が考える, 大学 DX のポテンシャルと企業の役割」
伊藤 久美 氏 (筑波大学理事)
- ・特別講演 2：
「組合せ最適化におけるアルゴリズムの理論的な効率性」
小林 佑輔 氏 (京都大学)
- ・特別講演 3：
「コーポレートファイナンスの数理モデル」
西原 理 氏 (大阪大学)

(2) 秋季研究発表会

- ・9月10日, 11日, 南山大学
- ・実行委員長：佐々木 美裕 (南山大学)
- ・発表件数 111 件, 参加人数 416 名
- ・アブストラクト集発行
- ・特別講演 1：
「学校のリスクを見える化する一部活動改革から働き方改革まで」
内田 良 氏 (名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 教授)
- ・特別講演 2：
「高度救命救急センター併設大学病院の現場から見た医師働き方改革の課題と現状」
渡邊 栄三 氏 (愛知医科大学病院 高度救命救急センター長・愛知医科大学医学部
救急集中治療医学講座 教授)

2. シンポジウム

(1) 春季シンポジウム

- ・3月6日, 筑波大学 (筑波キャンパス)
- ・実行委員長: 鈴木 勉 (筑波大学)
- ・テーマ 「学・民間が牽引する行政 DX」
- ・講演5件

(2) 秋季シンポジウム

- ・9月9日, 南山大学
- ・実行委員長: 柳浦 睦憲 (名古屋大学)
- ・テーマ 「働き方改革と OR」
- ・講演4件

3. OR セミナー

(1) 第1回「多様な利用場面における可視化」

- ・6月6日, オンライン開催
- ・コーディネーター・司会: 塚本潤 (日鉄ソリューションズ(株))
- ・講師: 伊藤正彦 (北海道情報大学), 伊藤貴之 (お茶の水女子大学), 夏川浩明 (大阪成蹊大学)
坂本尚久 (神戸大学),
- ・参加者23名

(2) 第2回「Streamlit を使って数理最適化アプリを作成しよう！」

- ・7月6日, オンライン開催
- ・コーディネーター: 稲川敬介 (秋田県立大学)
- ・講師: 岩永二郎 ((株)エルデシュ / 電気通信大学), 田中一樹 ((株)ディー・エヌ・エー)
西村直樹 ((株)リクルート)
- ・参加者101名

(3) 第3回「実験計画法の新潮流 ～空間充填計画, ベイズ最適化, 多目的設計探査, 機械学習の活用～」

- ・11月30日, 現地とオンラインのハイブリット開催
- ・コーディネーター: 高澤兼二郎 (法政大学)
- ・司会: 森田浩 (大阪大学)
- ・講師: 山田秀 (慶應義塾大学), 金子弘昌 (明治大学), 吉野睦 ((株)デンソー)
滝勇太 ((株)構造計画研究所)
- ・参加者58名

4. 企業事例交流会

(1) 春季企業事例交流会 (第52回)

(2) 秋季企業事例交流会 (第53回)

【機関誌、論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、機関誌・論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 機関誌

機関誌「オペレーションズ・リサーチ」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号
2024 年 3 月 1 日	69	3
2024 年 4 月 1 日	69	4
2024 年 5 月 1 日	69	5
2024 年 6 月 1 日	69	6
2024 年 7 月 1 日	69	7
2024 年 8 月 1 日	69	8
2024 年 9 月 1 日	69	9
2024 年 10 月 1 日	69	10
2024 年 11 月 1 日	69	11
2024 年 12 月 1 日	69	12
2025 年 1 月 1 日	70	1
2025 年 2 月 1 日	70	2

2. 論文誌

論文誌（Journal of the Operations Research Society of Japan: JORSJ），和文論文誌（Transactions of the Operations Research Society of Japan: TORSJ）を下記のとおり発行した。

発行年月	巻	号
2024 年 4 月	67	2
2024 年 7 月	67	3
2024 年 10 月	67	4
2024 年 12 月 (TORSJ)	67	
2025 年 1 月	68	1

なお、論文誌はインターネット上で無料公開している。

【研究部会による調査研究とその公表活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究部会による調査研究とその公表活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。調査研究にあたっては、専門の研究部会を組成し、主査・幹事が中心となり研究希望者を公募して行っている。

	常設部会	主査, 幹事	メンバー	開催 (うち合同)	内容	場所
1	待ち行列	主査 増山博之 (東京都立大学) 幹事 佐久間大 (防衛大学校) 幹事 小林正弘 (東海大学)	30 名	8 回 (1 回)	計 6 回の部会を開催し、発表内容は、待ち行列、情報通信ネットワーク、生産システムなど多岐に渡っている。このうち 1 回は確率系研究部会「待ち行列」、「確率最適化とその応用」、「信頼性の理論と応用」ならびに OR 学会中国・四国支部の共催で合同部会として実施された。また、2024 年 12 月 4-6 日に「2024 年度待ち行列シンポジウム」を開催した。	早稲田大学 西早稲田キャンパス、 東海大学品川キャンパス、zoom も併用している
2	数理計画 (RAMP)	田村明久 (慶應義塾大学) 田中未来 (統計数理研究所)	35 名	1 回	11 月 18 日と 19 日に姫路・西はりま地場産業センターにて、4 セッション構成で開催しました。テーマは「連続最適化の新展開」、「数理最適化の展開」、「離散システムと最適化」、「計算幾何とその変遷」です。国内外の様々な分野の第一線でご活躍の先生方にご講演いただいた。	姫路・西はりま地場産業センター (じばさんびる) : 対面開催
3	評価の OR	伊豆永 洋一 (九州大学) 王 緒 (群馬大学)	8 名	3 回	評価の OR 研究部会では、データ包絡分析法 (DEA)、階層分析法 (AHP)、ゲーム理論、データ解析など広く評価に関わる OR 的手法をテーマとし、その理論と応用に関する議論を行います。 定例研究会では毎回 2 名の講演者を招き、DEA やその他評価に関連した分析手法やその応用研究について講演を行った。本年度は全 3 回のうち 1 回は例年通り「学生発表会」として研究会を実施し、若手研究者 (特に大学院生) に研究発表の場を提供し支援を行った。また、2024 年秋季研究発表会において、研究部会によるセッションを企画し、3 件の口頭発表が行われた。参加者 71 名	早稲田大学 西早稲田キャンパス

4	意思決定法	主査：法雲俊栄 (同志社大学) 幹事：飯田洋市 (公立諏訪東京理科大学)	6名	4回	4回の研究部会を開催し、主に『意思決定法 AHP の世界』の執筆者による解説を行った。学生大会は中止とした。延べ 46 名の参加者があった。2024 年 3 月開催の OR 学会研究発表会で特別セッションを企画した。	オンライン
5	サプライチェーン戦略	主査：伊倉義郎 (株式会社サイテック・ジャパン) 幹事：草刈君子	17名	5回	企業の経営戦略・運用戦略・戦略プロセスはサプライチェーンを軸に実施される。ここで適用する OR 手法について事例と理論両面からの研究を行う。今年度は物流、ものづくり、価値評価について研究を行った。	(株)構造計画研究所

	研究部会	主査, 幹事	メンバー	開催 (うち 合同)	内容	場所
1	ヘルスケアの OR	主査：土谷隆 (政策研究大学院大学) 幹事：伊藤真理 (神戸大学), 小笠原悠 (東京都立大学)	151名	5回 (2回)	OR 研究者と医療・ヘルスケアの現場にいる研究者が交流を重ね、我が国の課題に応える OR の新たな応用分野の開拓、そして、討論や関連学会での共同研究発表を通じた OR 研究の普及を行う。	政策研究大学院大学, 筑波大学, 東京大学, 南山大学
2	確率最適化とその応用	主査：来島 愛子 (上智大学) 幹事：王 琦 (長崎総合科学大学) 堀口 正之 (神奈川大学)	16名	5回 (2回)	今年も多種多様なテーマの研究発表と研究討議に積極的でした。恒例の合同部会や玉置光司先生のご講演のあった特別研究会では幅広い分野と世代の研究者らとの交流とともに旧交を温める機会にも恵まれました。	上智大学、 愛知大学、 大阪電気通信大学
3	信頼性の理論と応用	主査：水谷聡志 (愛知工業大学), 幹事：岡村寛之 (広島大学), 今泉充啓 (愛知学泉大学), 木村充位 (愛知大学)	28名	6回 (1回)	信頼性理論だけでなく、最適停止問題、待ち行列、金融工学、拡散過程などに関連する研究者に依頼し、講演会を現地参加とオンラインのハイブリット形式で実施した。また、2 月には学生発表会をオンラインで実施した。	愛知大学・名古屋キャンパス 広島大学・東千田キャンパス (合同開催) 愛知工業大学・本山キャンパス

4	エネルギーシステムの進化と OR	主査： 進士 誉夫(ベスタス・ジャパン株式会社) 幹事： 池上 貴志(東京農工大学)	40 名	3 回	本研究部会では、脱炭素化へ向けた再生可能エネルギーの活用などによる複雑化したエネルギーの需給構造に対応すべく、OR 手法の適用方法と必要となる新たな方法論について検討する。	構造計画研究所 東京農工大学 小金井キャンパス
5	ビッグデータを用いたマーケティング分析研究部会	主査：横山暁（青山学院大学） 幹事：朝日弓未（東京理科大学） 大竹恒平（上智大学）	10 名	4 回	本年度は日本経済新聞社より提供いただいた日経 POS のデータを利用した「データ解析コンペティション」の OR 学会部門（予選会）を開催した。16 チームのエントリー、延べ 110 人程度の参加者があり、12 月初旬に中間発表会 2 回、2 月末に最終発表会 2 回をいずれもハイフレックス形式にて開催した。 データはスマホアプリユーザーの生鮮食品・惣菜の買い物ログデータであり、食文化の可視化や各小売りチェーンの特徴分析、またデータクレンジング方法の確立について取り組み、発表会を通して成果を報告するとともに、議論を行った。 本部会として、筑波大学の高野先生のチーム、東工大の中田先生のチーム、東京理科大の松澤先生のチーム、および学部生中心のチームとして慶應の田中先生のチームを表彰した	青山学院大学青山キャンパス（＋オンライン）
6	最適化の理論とアルゴリズム	主査：林俊介（法政大学） 幹事：藤井海斗（国立情報学研究所）	7 名	5 回	4 回の定例会にて計 7 件の講演を開催し、延べ 209 名（登録者数の合計）が参加した。また、5 月に筑波大学春日講堂にて学生の研究発表会を開催し、120 名が参加した。	国立情報学研究所（学術総合センター）
7	社会と技術・システムのイノベーション	主査：高嶋隆太（東京理科大学） 幹事：鳥海重喜（中央大学）、稲川敬介（秋田県立大学）	21 名	5 回	イノベーションの形成の理論的展開を目指しつつ、社会の諸問題を OR の視点から議論するための研究会を 5 回開催した。特に、地域、都市におけるイノベーションに着目し、社会全体に波及する研究の発展に寄与した。	東京理科大学、中央大学、オンライン
8	社会安全と OR	主査：佐久間 大（防衛大） 幹事：鶴飼 孝盛（防衛大）	10 名	5 回 (1 回)	社会安全に関する個別のテーマ「サイバーセキュリティ」「感染症」に関する OR モデル、マルチエージェントシミュレーション(MAS) やゲーミングシミュレーション、量子計算機の活用について議論した。	政策研究大学院大学

	研究グループ	主査, 幹事	メンバー	開催	内容	場所
1	未来都市のOR	主査：三浦英俊 (南山大学) 幹事： OUYANG JUNYAN (国立環境 研究所)	19 名	3 回	未来都市の諸問題についてメンバーやゲストによる研究発表とその後の議論等を通じて, 分析・手法などの理論面の深化を図り, さらに広くオペレーションズ・リサーチに適用可能な理論や数理モデルの開発に取り組んだ. また, 施設配置, 交通, 環境, 防災, 観光, 経済等の多種多様な未来都市に関する問題を解決するための実践的側面についても研究を深めた.	東京大学, 麗澤大学, 南山大学
2	量子コンピュータと次世代計算機活用	主査：大輪 拓也 (九州工業大学), 幹事：矢実 貴志 (株)NTT データ)	8 名	0 回		

【表彰活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、表彰活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 春季表彰

- (1) 第25回業績賞
 - ▷ 滝根 哲哉（大阪大学）
 - ▷ 田村 明久（慶應義塾大学）
- (2) 第49回普及賞
 - ▷ 栗田 治（慶應義塾大学）
 - ▷ 株式会社エルデシュ（代表：岩永二郎）
- (3) 第48回実施賞
 - ▷ 藤澤 克樹（東京工業大学/九州大学）
 - ▷ 三菱重工業株式会社 デジタルイノベーション本部

2. 秋季表彰

- (1) 第14回研究賞
 - ▷ 垣村 尚徳（慶應義塾大学）
 - ▷ 福田 エレン 秀美（京都大学）
- (2) 第14回研究賞奨励賞
 - ▷ 中山 舜民（電気通信大学）
 - ▷ 山川 雄也（京都大学）
- (3) 第44回事例研究賞
 - ▷ Fracta Leap 株式会社（研究代表：請川克之，村井真也）
 - ▷ 小泉 匡秀（東海旅客鉄道株式会社），太田 有人（日鉄ソリューションズ株式会社）
 - ▷ 椎名 萌，高野 祐一（筑波大学），宇佐美 朋香，山西 康孝，藤巻 米隆（株式会社ルリアン）
- (4) 第14回論文賞
 - ▷ 河瀬 康志（東京大学）
- (5) 第42回学生論文賞
 - ▷ 寺尾 樹哉（修論 京都大学）
 - ▷ 永井 琉生（修論 京都大学）
 - ▷ 野坂 桂悠（修論 筑波大学）
 - ▷ 野沢 諒太（修論 東京大学）
 - ▷ 丸橋 奏音（修論 中央大学）

【支部活動】

1. 北海道支部

活動	年月日	場所	内容
Winter Workshop on Operations Research, Finance and Mathematics, 2024	2024/02/29-2024/03/04	朝里川温泉ホテル	招待講演 9 件 一般講演 17 件 共催：東京都立大学 ※ 開催期間が令和 5, 6 年度にまたがり双方の事業報告に記載
令和 6 年度 第 1 回運営委員会, 支部総会	2024/03/27	ほくでん北二条クラブ	(1) 令和 5 年度事業報告 (2) 令和 5 年度収支決算報告ならびに監査報告 (3) 令和 6 年度役員 (案) (4) 令和 6 年度事業計画 (案) (5) 令和 6 年度予算 (案) (6) その他
北海道支部研究会	2024/08/06	北海道大学 学術交流会館	講演 1 : 高橋智彦氏 (拓殖大学) 「地方銀行の効率性 指定金融機関問題を中心に」 講演 2 : 岩橋培樹氏 (琉球大学) 「アジアにおける沖縄観光需要の要因分析」 講演 3 : 八木恭子氏 (東京都立大学) “Earnouts in mergers and acquisitions under asymmetric information,” 講演 4 : 横山想一郎氏 (北海道大学) 「スケジューリングアルゴリズムの社会実装」
令和 6 年度 第 2 回運営委員会	2024/08/06	北海道大学 学術交流会館	(1) 北海道支部の活性化について
2024 年北海道支部サマースクール	2024/09/01-2024/09/02	朝里川温泉ホテル	講義：マッチング理論入門 講師：琉球大学 国際地域創造学部 宮田亮 准教授
令和 6 年度 第 3 回運営委員会	2025/01/31	北大マルシェ Café&Labo	(1) 2025 年度北海道支部の体制について
Winter Workshop on Operations Research, Finance and Mathematics, 2025	2025/02/19-2025/02/23	朝里川温泉ホテル	招待講演 10 件 一般講演 20 件 共催：東京都立大学

2. 東北支部

活動	年月日	場所	内容
総会	2024/3/28	オンライン	2023 年度事業報告, 2023 年度決算, 2024 年度事業計画についてなど
会議	2024/7/11	オンライン	支部事業（東北 OR セミナー若手研究交流会）実施計画について
会議	2024/7/30	オンライン	支部事業（東北 OR セミナー若手研究交流会）実施計画について
セミナー	2024/10/26 ～ 2024/10/27	秋田拠点センターALVE（アルヴェ）	東北 OR セミナー若手研究交流会 東北地方を中心とした若手研究者の育成と学生会員数の増加を図るための研究発表会. 主として学生に研究発表と人的交流の場を提供し, 個々の大学や 研究室を超えた地域全体での若手研究者育成, および研究者同士の共同研究も視野に入れて東北地方の包括的な研究活性化を目的としている. 今年度は, 2024 年 10 月 26 日（土）～2024 年 10 月 27 日（日）に対面で開催した. 38 名（うち学生 26 名）の参加者を集めて, 盛況のうちに無事終了することができた. 本研究交流会では優秀な発表を行った若干名の学生に対して学生優秀発表賞を授与しており, 本年度は 3 名が選出された. 詳細は下記サイト参照. https://orsj.org/tohoku/seminar/tors2024/
講演会	2024/10/27	秋田拠点センターALVE（アルヴェ）	特別講演：小笠原悠（東京都立大学） 「観光需要の季節性と周縁地域のレベニューマネジメント」（上記セミナーの一部として実施）
会議	2025/1/27	オンライン	OR 学会機関誌東北支部特集号執筆について

3. 中部支部

活動	年月日	場所	内容
第1回幹事会	2024年3月 2日	南山大学・Zoom ミーティング	2024年度総会における議案について討議した.
運営委員会	2024年3月 2日	南山大学・Zoom ミーティング	2024年度総会における議案について討議した.
総会	2024年3月 2日	南山大学・Zoom ミーティング	以下の議案について審議を行った. (1) 2023年度事業報告 (2) 2023年度決算報告 (3) 支部予算・決算報告作成方法の変更について (4) 謝金、交通費、宿泊費等に関するルールの変更について (5) 2024年度役員選出 (6) 2024年度事業計画 (7) 2024年度予算 (8) その他
第51回支部研究発表会および 特別講演	2024年3月 2日	南山大学・Zoom ミーティング	研究発表会の発表タイトル及び講演者は以下の通り. キャンパスのOR—国際寮の部屋割り問題・契約電力の最適設定— ○青井賀容子, 鈴木敦夫(南山大学) 時間区間ごとに作業時間を配分するソフトウェア・プロジェクト・スケジューリング問題 ○半田拓朗, 中出康一(名古屋工業大学) 自動搬送機配送計画問題に対する発見的解法 ○平野愛翔, 呉偉(静岡大学) 鳥羽市定期船を対象とした船舶運用計画の自動生成に関する研究 ○近藤克, 脇坂賢(鳥羽商船高等専門学校) 物流倉庫における入荷作業プロセスの効率化 ○小林優之介, 瀧上昂希(名古屋大学), 呉偉(静岡大学), 河口信夫, 柳浦睦憲(名古屋大学) 積み下ろしを考慮したパッキング問題に対する解法の提案 ○古藤寛隆, 小市俊悟(南山大学) マトロイドカーネルに対する不動点が入れ子構造を持つアルゴリズム ○猪子尚浩, 小市俊悟(南山大学) 時間拡大ネットワークを用いた信号制御則の最適化 ○古屋宗磨, 佐々木美裕(南山大学) グラフ分解に基づく高性能なビール路クエリシステム

			○杉山康恭, 小野廣隆(名古屋大学), 土中哲秀(九州大学), 定兼邦彦(東京大学) また, 特別講演は関谷和之氏(成蹊大学)による「望ましい改善目標を求める DEA への誘い」であった.
C3PO セミナー 2024#1	2024 年 8 月 26 日	名古屋大学	品野勇治氏(Zuse Institute Berlin (ZIB))による講演会を実施した. 講演タイトルは「Progress on highly parallel ensemble solvers」であった.
第 2 回幹事会	2024 年 11 月 30 日	愛知大学・Zoom ミーティング	以下の議題について討議した. (1) 2025 年 3 月「幹事会・運営委員会・総会・研究発表会・特別講演会・学生表彰式・懇親会」について (2) 第 52 回日本 OR 学会中部支部研究発表会について (3) 特別講演会(2025/3/1)について (4) SSOR について (5) シンポジウムについて (6) 高大連携活動の再検討について (7) その他
研究会	2024 年 11 月 30 日	愛知大学・Zoom ミーティング	以下の 2 件の研究発表を含む研究会を実施した. 木村充位氏(愛知大学)「誤り訂正符号をもつデータ通信システムの信頼性解析」 梅谷俊治氏(株式会社リクルート)「実務につなげる数理最適化」

4. 関西支部

活動	年月日	場所	内容
支部総会	2024/03/16	中央電気 倶楽部	2023 年度事業報告・決算および 2024 年度事業計画・予算などが承認された。 ・出席者 24 名，委任状提出 50 名，計 74 名
記念講演会	2024/03/16	中央電気 倶楽部	・発表 1：西原 理（大阪大学）「コーポレート ファイナンスの数理モデル」 ・発表 2：小林 佑輔（京都大学）「組合せ最適化に おけるアルゴリズムの理論的な効率性」 ・参加者：24 名
第 1 回支部 運営委員会	2024/03/16	中央電気 倶楽部	・出席者 21 名，委任状提出 12 名，計 33 名
第 2 回支部 運営委員会	2024/10/30	Zoom	・出席者 28 名，委任状提出 7 名，計 35 名
支部若手 研究発表会	2024/11/20	大阪大学 中之島 センター	・実行委員長：山口 勇太郎（大阪大学） ・発表件数：14 件 ・参加者：28 名
支部 シンポジウム	2024/11/26	キャンパス プラザ京都	・実行委員長：山中 翔太（トヨタ自動車） ・テーマ：モビリティのための数理と OR ・参加者：32 名 ・講演者および講演題目： 1. 中尾 芳隆（キヤノン IT ソリューションズ） 「移動効 率と有最適化を両立する現金 共同装填計画の最適化」 2. 櫻間 一徳（大阪大学） 「最適輸送理論のシンクホーンアルゴリズムとそのワン ウェイ型カーシェアリングサービスへの応用」 3. 大滝 啓介（豊田中央研究所） 「移動を促進するための経路計画」 4. 弘津 雄三（パナソニックコネク） 「モビリティを支える交通信号制御と OR」 5. 繁野 麻衣子（筑波大学） 「通勤カープールの可能性を探る数理モデルと その展開」
第 3 回支部 運営委員会	2025/02/20	Zoom	・出席者 24 名，委任状提出 9 名，計 33 名

5. 中国四国支部

活動	年月日	場所	内容
支部総会	2024/3/16	県立広島大学サテライトキャンパス ひろしま	令和5年度支部活動・決算の報告 令和6年度支部役員・活動計画・予算の承認
支部シンポジウム	[1]2024/8/8 [2]2024/12/14	[1]広島大学工学部 [2]Zoom オンライン	[1]海外の研究者2名ならびに国内研究者2名によるデータサイエンス・機械学習に関する講演を行った. 講師: Prof. Weiwei Yuan (Nanjing University of Aeronautics and Astronautics, China) 講師: Prof. Liang Li (Ritsumeikan University, Japan) 講師: Prof. Donghai Guan (Nanjing University of Aeronautics and Astronautics, China) 講師: Dr. Lei Rao (Hiroshima University, Japan) [2]国内研究者3名によるデータサイエンスの教育・社会応用に関する講演を行った. 講師: 松井猛 (県立広島大学地域創生学部) 講師: 蓮池隆 (早稲田大学理工学術院創造理工学部) 講師: 片桐英樹 (神奈川大学工学部)
支部研究部会	[1]2024/10/31 [2]2024/11/21 [3]2024/11/25	Zoom オンライン	部会名「プロジェクトマネジメントと確率モデル」 主催講演会: 3件 (講師3名) 講師: 井上真二 (関西大学総合情報学部教授) 講師: 河村圭 (山口大学教授) 講師: 赤松良久 (山口大学教授)
支部研究部会	[1]2024/6/22 [2]2025/1/11	[1]広島工業大学 広島校舎 [2]Zoom オンライン	部会名「SCM&サービス工学」 主催講演会: 2件 (講師2名) 講師: 吉野聖人 (広島工業大学助教) 講師: 梅村祥之 (広島工業大学教授)
支部研究部会	2024/12/13	徳島大学	部会名「ORと数学」 主催研究会: 1件 (講師2名) 講師: 中山慎一 (徳島大学) 講師: 宮谷和亮 (徳島大学)
講演会	[1]2024/3/16 [2]2024/10/19 [3]2024/11/3 [4]2024/12/21	[1]県立広島大学サテライトキャンパスひろしま [2]広島大学 [3]大久野島国民休暇村 [4]広島工業大学	[1]講師: 西崎一郎 (広島大学) [2]講師: 小蔵正輝 (広島大学) [3]講師: 長沢敬祐 (広島大学) [4]講師: 松井猛 (県立広島大学)
共催講演会	2024/10/19	広島大学	講師: 肖霄 (東京都立大学) 講師: 宮野英次 (九州工業大学) 講師: 大内克久 (大和大学) 講師: 小蔵正輝 (広島大学) (※支部講演会[2]として実施)

6. 九州支部

活動	年月日	場所	内容
総会	2024/3/23	ハイブリット式 ・福岡工業大学 ・オンライン	2023 年度活動報告, 2024 年度活動計画 参加人数: 13 名
講演会	2024/3/23	ハイブリット式 ・福岡工業大学 ・オンライン	題目: 超スマート社会時代のアルゴリズム工学 講師: 小野 廣隆 様 (名古屋大学) 参加人数: 13 名
講演会	2024/7/27	ハイブリット式 ・福岡工業大学 ・オンライン	題目: 単位係数二変数不等式制約からなる整数線形最適化問題の永続性 講師: 木村慧 様 (九州大学) 参加人数: 14 名
研究会	2024/7/27	ハイブリット式 ・福岡工業大学 ・オンライン	題目: 一般化レーベンバーク・マルカート法の計算量解析と局所収束性について 講師: 奥野貴之 様 (成蹊大学) 参加人数: 14 名
講演会	2024/10/19	現地開催 ・FIT セミナー ハウス	題目: 物流改革を支援する共同輸送マッチング 講師: 吉良 知文様 (九州大学マス・フォア・インダストリ研究所) 参加人数: 36 名
若手交流会	2024/10/19- 20	現地開催 ・FIT セミナー ハウス	九州地区における若手 OR 研究交流会 発表件数: 25 件 参加人数: 36 名
講演会	2024/12/21	ハイブリット式 ・西新プラザ ・オンライン	題目: 都市エクイティ研究への実証的消費者行動アプローチについて 講師: 岩見 昌邦 様 (和光大学) 参加人数: 14 名
研究会	2024/12/21	ハイブリット式 ・西新プラザ ・オンライン	題目: 実務と理論の狭間で: 組織的な意思決定の不合理性をシミュレーションで探る 講師: 安藤 良祐 様 (鹿児島大学) 参加人数: 14 名

【会議】

1. 通常総会

2024 年 4 月 26 日（ハイブリット開催）

◇審議

- | | | |
|-------------------------|---|---|
| 1 「2023年度事業報告」の件 | 承 | 認 |
| 2 「2023年度決算報告および監査報告」の件 | 〃 | |
| 3 「2024-2025年度新役員承認」の件 | 〃 | |

◇報告

- | | | |
|-------------|---|---|
| 1 2024度事業計画 | 報 | 告 |
| 2 2024度収支予算 | 〃 | |

2. 理事会

【2024 年度第 1 回】2024 年 4 月 5 日（ハイブリット開催）

◇審議

- | | | |
|----------------------------------|---------|---|
| 0 前回理事会議事録確認 | 承 | 認 |
| 1 入会・退会承認の件 | 〃 | |
| 2 特定費用準備資金計画の件 | 〃 | |
| 3 2024 年度総会資料の件 | 〃 | |
| 1 第 1 号議案 2023 年度事業報告の件 | | |
| 2 第 2 号議案 2023 年度決算報告と監査報告の件 | | |
| 3 第 3 号議案 2024-2025 年度役員承認の件 | | |
| (4 報告 1 2024 年度事業計画書(参考：承認済み) | | |
| (5 報告 2 2024 年度収支予算書(参考：承認済み) | | |
| 4 2024 年度委員および幹事委嘱の件 | 〃 | |
| 5 研究部会・グループ追加補助金申請の件 | 〃 | |
| 6 2025 年春季大会シンポジウム計画案 | 〃 | |
| 7 2024 年秋季研究発表会・シンポジウム概要の件 | 継 続 審 議 | |
| 8 研究発表会の発表件数の制限について | 〃 | |
| 9 研究発表会における学会本部から派遣する実行委員の仕事分担の件 | 〃 | |
| 10 非常勤職員雇用の件 | 承 | 認 |
| 11 2024 年度総会および理事会日程の件 | 〃 | |

◇報告

- | | | |
|-----------------------------------|---|---|
| 1 2023 年度後半代表理事職務執行状況報告の件 | 報 | 告 |
| 2 OR 学会在り方検討会の活動状況について | 〃 | |
| 3 Web ページ関連更新に関して | 〃 | |
| 4 2023 年度研究部会・グループ活動報告 | 〃 | |
| 5 研究発表会におけるキャリアセッションと学生発表の継続性について | 〃 | |
| 6 2024 年度企業事例交流会の開催方針 | 〃 | |
| 7 2024 年度～2025 年度 OR セミナーの開催方針 | 〃 | |
| 8 研究発表会における OR キャリアセッションの開催状況 | 〃 | |
| 9 2024 年度第 1 回 OR セミナー(可視化)案 | 〃 | |
| 10 2024 年度第 2 回 OR セミナー(最適化)案 | 〃 | |
| 11 今後の支部長会議の運営方法について | 〃 | |
| 12 台湾 OR 学会とのコラボレーションについて | 〃 | |
| 13 次回理事会の件 | 〃 | |

【2024 年度(総会直後の)臨時理事会】2024 年 4 月 26 日（ハイブリット開催）

◇審議

- | | | |
|-----------|---|---|
| 1 会長選出の件 | 承 | 認 |
| 2 副会長選出の件 | 〃 | |

3 会務の確認の件	〃	
4 2024 年秋季研究発表会・シンポジウム概要の件	〃	
◇報告		
1 2024 年度理事会等の日程確認の件（第 1 回理事会で承認済み）	報	告

【2024 年度第 2 回】 2024 年 5 月 31 日 （ハイブリット開催）

◇審議		
1 前回理事会議事録確認	承	認
2 入会・退会承認の件	〃	
3 シニア会員への変更の件	〃	
4 年会費滞納者の件	〃	
5 2024 年度学会賞(秋季表彰)の件	〃	
6 JORSJ 編集委員会名簿の件	〃	
7 広報委員の委嘱および解嘱の件	〃	
8 2024 年度対外委員の件	〃	
9 2024 年度春季会研究発表会及びシンポジウム決算の件	〃	
10 理事会資料や理事会用 X-sever のアクセス ID, PW の取り扱いの件	〃	
◇報告		
1 RAMP シンポジウムの予算報告の件	報	告
2 2025 春季研究発表会の特別講演の件	〃	
3 2023 年度第 3 回 OR セミナー実施報告	〃	
4 次回理事会の件	〃	

【2024 年度第 3 回】 2024 年 7 月 26 日 （ハイブリット開催）

◇審議		
1 前回理事会議事録確認	承	認
2 入会・退会承認の件	〃	
3 2024 年度 1Q 収支の件	〃	
4 2024 年の第 42 回学生論文賞の推薦の件	〃	
5 2025 年支部事業費の件	〃	
6 2024 年度第 3 回 OR セミナー実施要項の件	〃	
7 2024 年度第 1 回 OR セミナー収支およびアンケートの件	〃	
8 OR セミナーの講師謝金の上限変更の件	継	続 審 議
◇報告		
1 研究発表会及びシンポジウムの手引き改定件	報	告
2 研究発表会の参加区分について	〃	
3 研究発表会アブストラクトの一般公開について	〃	
4 2024 秋大会の協賛の件	〃	
5 台湾 OR 学会との交流の件	〃	
6 2024 春大会における賛助会員への予稿集送付の件	〃	
7 キャリアセッション企画状況	〃	
8 企業事例交流会企画状況	〃	
9 2025 年度 OR セミナー企画状況	〃	
10 広報委員会活動状況	〃	
11 功労賞（仮称）の検討状況	取	り 下 げ
12 国際委員退任の件	報	告
13 理事会における入会審査の廃止についての調査状況報告	〃	
14 次回理事会の件	〃	

【2024 年度第 4 回】 2024 年 10 月 25 日 （ハイブリット開催）

◇審議

1 前回理事会議事録確認	承	認
2 入会・退会承認の件		//
3 2024年度第2Q収支の件		//
4 2025年度予算作成の件		//
5 企画委員会（仮称）の設置について		//
6 2025年度春季研究発表会・シンポジウムの概要		//
7 2025年度秋季研究発表会・シンポジウム計画案		//
8 2024年度第2回ORセミナー収支決算の件		//
9 ORセミナーの講師謝金の上限変更の件		//
10 会費納入期限と会員資格停止の整理について		//
11 学生会員の規定と身分確認業務について		//
12 広報委員の解嘱について		//
13 評価委員会専門委員候補者推薦について		//

◇報告

1 2024年度前半代表理事職務執行状況報告	報	告
2 2025-2026年度役員選挙日程の件		//
3 機関誌編集委員変更の件		//
4 会員への告知について		//
5 メーリングリストの移行について		//
6 企業広告見直しに関する検討報告		//
7 理事会における入会審査の廃止について検討中止について		//
8 細則4-2-2の非公開化の件		//
9 次回理事会議事予定の件		//

【2024年度第5回】 2024年12月20日（ハイブリット開催）

◇審議

1 前回理事会議事録確認	承	認
2 経営工学関連協議会（FMES）の今後の在り方について		//
3 著作権規程改訂（AI利用）の件		//
4 企画委員会の規程について		//
5 メーリングリスト利用規程および同細則の制定について		//
6 国内渉外に係る渉外細則4-11-1改訂の件		//
7 特別会員についての規程条文復元の件		//
8 理事会運営方法の件		//
9 委員及び幹事の推薦方法見直しの件		//
10 庶務幹事委嘱の件		//
11 研究普及委員の追加について		//
12 広報委員の委嘱について		//
13 第10回近藤賞・第26回業績賞候補者推薦の件		//
14 2025年度フェロー候補者推薦の件		//
15 2024年度秋季大会決算について		//
16 会員管理の件		//

◇報告

1 2025年度普及関連事業の件	報	告
2 2024年度3Q収支の件		//
3 2025年度予算案1次集計結果		//
4 RAMPシンポジウム決算についての経過報告		//
5 共催・協賛・後援について		//
6 2025年度支部事業費について		//
7 国立大学教育研究評価委員会等専門委員候補者推薦結果について		//

8 次回理事会の件		〃
【2024 年度第 6 回】 2025 年 1 月 31 日 (ハイブリット開催)		
◇審議		
1 前回理事会議事録確認	承	認
2 内閣府への届け出の件		〃
3 学会Webページリニューアルのための特定資産積立金取り崩しの件		〃
4 会員管理の件		〃
5 2025年度研究部会・グループの新設継続申請の件		〃
6 研究部会・グループ追加補助金の募集の件		〃
7 2025年春季表彰学会賞候補の件		〃
8 実施賞授与件数変更の件		〃
9 職員就業規程改訂の件		〃
10 IAOR委員会廃止の件		〃
11 研究普及理事呼称整備および審議手続き簡素化の件		〃
◇報告		
1 講師謝金細則4-4-4新設の件	報	告
2 普及細則改廃の件		〃
3 2024年度第3回ORセミナー決算の件		〃
4 2025年度第1回ORセミナー予算の件		〃
5 2025年度第1回会員ネットワーキング予算の件		〃
6 2025年度第2回会員ネットワーキング予算の件		〃
7 メーリングリストの移行について		〃
8 メーリングリスト利用規程細則の制定について		〃
9 2025-2026年度役員選挙の件		〃
10 名誉会員及びフェローの詳細を扱う細則改訂の件		〃
11 新年度委員選任の依頼の件		〃
12 次回理事会議事予定		〃

なお、2024年度通常総会にて報告した理事会会議報告で、2023年度第5回理事会資料 A-5（RAMP予稿集バックナンバーの電子ファイル公開の件）、A-11（研究発表会での優秀発表学生への副賞授与の件）、および第6回理事会資料 A-3（賞金額の変更の件）、A-6（優秀発表学生への副賞授与の件(継続審議)）の議案については、承認ではなく、正しくは継続審議でした。ここに訂正、報告いたします。

【役員】

理事（非常勤）

定数：12 人から 18 人（現在：18 人）

任期：2 年

監事（非常勤）

定数：2 人（現在：2 人）

任期：2 年

2024 年度末現在

理 事 ・ 監 事 の 役 職	氏 名	常 勤 非常勤 の 別	就任年月日	担 当 職 務	報酬	現 職
理事（会 長）	山 上 伸	非常勤	2022.4.26	会務の総理	なし	東京ガス株式会社
〃（副会長）	猿 渡 康 文	〃	2022.4.26	〃	〃	筑波大学
〃（ 〃 ）	三 好 直 人	〃	2023.4.28	〃	〃	東京科学大学
〃（ 〃 ）	森 永 聡	〃	2023.4.28	〃	〃	日本電気株式会社
〃（庶 務）	宮 川 雅 至	〃	2023.4.28	庶 務	〃	山梨大学
〃（ 〃 ）	黒 木 裕 介	〃	2024.4.26	〃	〃	ヤマト運輸株式会社
〃（会 計）	塩 野 直 志	〃	2024.4.26	会 計	〃	神奈川工科大学
〃（研究普及）	山 田 裕 通	〃	2024.4.26	普 及	〃	株式会社構造計画研究所
〃（研究普及）	林 俊 介	〃	2023.4.28	研 究	〃	法政大学
〃（編集）	関 谷 和 之	〃	2023.4.28	機関誌編集	〃	成蹊大学
〃（編集）	牧 野 和 久	〃	2022.4.26	論文誌編集	〃	京都大学
〃（国 際）	鵜 飼 孝 盛	〃	2021.4.27	国 際	〃	防衛大学校
〃（渉 外）	塩 田 茂 雄	〃	2024.4.26	渉 外	〃	千葉大学
〃（広 報）	田 中 未 来	〃	2024.4.26	広 報	〃	統計数理研究所
〃（支 部）	谷 崎 隆 士	〃	2023.4.28	支 部	〃	近畿大学
〃（大 会）	佐々木 美裕	〃	2023.4.28	大 会	〃	南山大学
〃（ 〃 ）	岡 村 寛 之	〃	2024.4.26	大 会	〃	広島大学
〃（無任所）	鳥 海 重 喜	〃	2023.4.28	無 任 所	〃	中央大学
監 事	根 本 俊 男	〃	2023.4.28	定款 20 条	〃	文教大学
〃	河 東 晴 子	〃	2024.4.26	〃	〃	三菱電機株式会社

【職員】

2024 年度末現在

職 名	常勤・非常勤	採用年月日	担当事務	備 考
事 務 局 長	非常勤	2022.3.1	総括・庶務・渉外	
職 員	非常勤	2022.12.23	経理・学会事務全般	
〃	パート	2022.12.1	会員管理・学会事務	

【会員状況】

1. 2024 年度通算 (2024/03/01～2025/2/28)

		名誉 会員	正会員		学生会員	賛助会員		合計
			一般	シニア・ 特別		A 種	B 種	
2024. 2. 29		12	1293	60	203	33	22	1623
入 会			52	1	66	9	4	132
退 会			▲ 86	▲ 3	▲ 58		▲ 4	▲ 151
区分 変更	学→正		14		▲ 14			0
	正→シ		▲ 6	6				0
	正→名							
	B 種→A 種					1	▲ 1	0
今期間増減		0	▲ 26	4	▲ 6	10	▲ 1	▲ 19
2025. 2. 28 現在		12	1267	64	197	43	21	1604

年月日	合計	前年比
2024.02.29	1623	1
2023.02.28	1622	16
2022.02.28	1606	▲ 110
2021.02.28	1716	▲ 96
2020.02.29	1812	▲ 72
2019.02.28	1884	▲ 24
2018.02.28	1908	▲ 50
2017.02.28	1958	▲ 15
2016.02.29	1973	▲ 67
2015.02.28	2040	▲ 45
2014.02.28	2085	29
2013.02.28	2056	▲ 86

2. 支部別会員数

支部	名誉 会員	正会員		学生会員	賛助会員		合計
		一般	シニア・ 特別		A 種	B 種	
北海道		30	1				31
東 北		43	1	7			51
中 部		102	10	16	2	1	131
関 西	2	172	9	18	5	1	207
中国・四国		58	5	5			68
九 州		54	6	14			74
本 部	10	808	32	137	36	19	1042
2025. 2. 28 現在	12	1267	64	197	43	21	1604

2024年度決算報告および監査報告

貸借対照表

令和 7年 2月28日現在

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	24,319,467	22,375,439	1,944,028
未収会費	2,015,800	2,119,600	△ 103,800
未収金	600,432	559,668	40,764
前払金	235,224	235,224	0
前払費用	74,281	70,599	3,682
預け金	3,789,000	3,564,600	224,400
流動資産合計	31,034,204	28,925,130	2,109,074
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	672,000	448,000	224,000
名簿作成準備積立金資産	500,000	500,000	0
国際協力積立金資産	15,000,000	15,000,000	0
表彰事業積立金資産	4,200,000	4,200,000	0
〇A化積立金資産	7,070,000	8,380,000	△ 1,310,000
〇R事典積立金資産	4,000,000	4,000,000	0
近藤賞基金引当資産	7,000,000	7,000,000	0
公益事業充当資産	20,000,000	20,000,000	0
支部活動準備資産	13,500,000	13,500,000	0
企業事例交流会開催準備資産	4,000,000	4,000,000	0
リース資産	1,797,609	353,309	1,444,300
ホームページ改修費用準備資産	1,310,000	0	1,310,000
特定資産合計	79,049,609	77,381,309	1,668,300
(2) その他固定資産			
保証金	950,400	950,400	0
その他固定資産合計	950,400	950,400	0
固定資産合計	80,000,009	78,331,709	1,668,300
資産合計	111,034,213	107,256,839	3,777,374
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	93,876	194,405	△ 100,529
未払費用	232,312	265,378	△ 33,066
前受金	4,268,097	4,508,226	△ 240,129
前受会費	14,640,000	13,387,400	1,252,600
預り金	61,542	63,841	△ 2,299
仮受金	0	15,000	△ 15,000
未払消費税等	446,700	0	446,700
流動負債合計	19,742,527	18,434,250	1,308,277
2. 固定負債			
退職給付引当金	672,000	448,000	224,000
リース債務	2,207,739	572,192	1,635,547
固定負債合計	2,879,739	1,020,192	1,859,547
負債合計	22,622,266	19,454,442	3,167,824
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	83,411,947	82,802,397	609,550
(うち特定資産への充当額)	(73,377,609)	(71,933,309)	(1,444,300)
正味財産合計	88,411,947	87,802,397	609,550
負債及び正味財産合計	111,034,213	107,256,839	3,777,374

正味財産増減計算書

令和 6年 3月 1日から令和 7年 2月28日まで

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)			
科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	1,493	1,306	187
特定資産受取利息	1,493	1,306	187
受取入会金	111,900	113,400	△ 1,500
受取正会員入会金収入	73,500	75,000	△ 1,500
受取学生会員入会金収入	38,400	38,400	0
受取会費	26,223,000	26,361,400	△ 138,400
正会員受取会費収入	18,950,400	19,550,200	△ 599,800
学生会員受取会費収入	1,060,000	1,135,000	△ 75,000
賛助会員受取会費収入	5,759,000	5,237,000	522,000
シニア会員受取会費収入	453,600	439,200	14,400
事業収益	16,600,048	15,808,877	791,171
受取販売収益	2,257,904	2,708,063	△ 450,159
受取研究発表参加収入	4,359,000	4,410,000	△ 51,000
受取参加料	6,028,900	4,379,400	1,649,500
受取広告料	3,111,700	3,346,550	△ 234,850
受取掲載料	101,000	63,000	38,000
受取著作権料	129,544	289,864	△ 160,320
受取購読料	612,000	612,000	0
受取補助金等	1,405,728	0	1,405,728
雑収益	112,082	186,172	△ 74,090
受取利息	8,882	203	8,679
雑収益	103,200	185,969	△ 82,769
経常収益計	44,454,251	42,471,155	1,983,096
(2) 経常費用			
事業費	39,457,998	35,217,944	4,240,054
給与手当	5,761,553	5,680,382	81,171
賞与	1,911,240	1,661,760	249,480
臨時雇賃金	553,200	810,296	△ 257,096
法定福利費	1,175,775	1,103,401	72,374
旅費交通費	2,211,001	886,707	1,324,294
通信運搬費	1,005,192	847,511	157,681
退職給付費用	201,600	0	201,600
消耗品費	1,032,817	867,155	165,662
会議費	5,448,581	2,656,834	2,791,747
印刷製本費	6,571,128	6,915,077	△ 343,949
広告宣伝費	15,825	0	15,825
賃借料	2,760,514	2,921,832	△ 161,318
保険料	14,670	9,795	4,875
租税公課	446,700	0	446,700
支払負担金	263,076	256,688	6,388
諸謝金	3,779,796	4,279,853	△ 500,057
委託費	2,612,335	2,672,285	△ 59,950
支払手数料	2,831,186	3,339,691	△ 508,505
減価償却費	443,449	216,357	227,092
貸倒損失	399,360	92,320	307,040
雑費	19,000	0	19,000
管理費	4,141,103	3,932,000	209,103
給与手当	640,167	631,149	9,018
賞与	212,360	184,640	27,720
法定福利費	130,640	122,598	8,042
旅費交通費	717,664	857,735	△ 140,071
通信運搬費	53,634	50,321	3,313
退職給付費用	22,400	0	22,400
消耗品費	32,105	10,624	21,481
会議費	3,765	22,287	△ 18,522
賃借料	289,229	324,648	△ 35,419
保険料	1,630	1,088	542
租税公課	3,200	1,425	1,775
水道光熱費	202,922	197,906	5,016
支払手数料	158,076	221,060	△ 62,984
支払報酬料	869,000	966,000	△ 97,000
諸会費	150,000	170,000	△ 20,000
減価償却費	49,271	24,039	25,232
貸倒損失	599,040	138,480	460,560
雑費	6,000	8,000	△ 2,000
経常費用計	43,599,101	39,149,944	4,449,157
評価損益等調整前当期経常増減額	855,150	3,321,211	△ 2,466,061
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	855,150	3,321,211	△ 2,466,061
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
リース資産除却損	245,600	0	245,600
経常外費用計	245,600	0	245,600
当期経常外増減額	△ 245,600	0	△ 245,600
当期一般正味財産増減額	609,550	3,321,211	△ 2,711,661
一般正味財産期首残高	82,802,397	79,481,186	3,321,211
一般正味財産期末残高	83,411,947	82,802,397	609,550
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0
III 正味財産期末残高	88,411,947	87,802,397	609,550

正味財産増減計算書内訳表

令和 6年 3月 1日から令和 7年 2月28日まで

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計
	公 1			
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	1,144	349	0	1,493
特定資産受取利息	1,144	349	0	1,493
受取入会金	67,800	44,100	0	111,900
受取正会員入会金収入	29,400	44,100	0	73,500
受取学生会員入会金収入	38,400	0	0	38,400
受取会費	22,213,868	4,009,132	0	26,223,000
正会員受取会費収入	14,941,268	4,009,132	0	18,950,400
学生会員受取会費収入	1,060,000	0	0	1,060,000
賛助会員受取会費収入	5,759,000	0	0	5,759,000
シニア会員受取会費収入	453,600	0	0	453,600
事業収益	16,600,048	0	0	16,600,048
受取販売収益	2,257,904	0	0	2,257,904
受取研究発表参加収入	4,359,000	0	0	4,359,000
受取参加料	6,028,900	0	0	6,028,900
受取広告料	3,111,700	0	0	3,111,700
受取掲載料	101,000	0	0	101,000
受取著作権料	129,544	0	0	129,544
受取購読料	612,000	0	0	612,000
受取補助金等	1,405,728	0	0	1,405,728
雑収益	0	112,082	0	112,082
受取利息	0	8,882	0	8,882
雑収益	0	103,200	0	103,200
経常収益計	40,288,588	4,165,663	0	44,454,251
(2) 経常費用				
事業費	39,457,998	0	0	39,457,998
給与手当	5,761,553	0	0	5,761,553
賞与	1,911,240	0	0	1,911,240
臨時雇賃金	553,200	0	0	553,200
法定福利費	1,175,775	0	0	1,175,775
旅費交通費	2,211,001	0	0	2,211,001
通信運搬費	1,005,192	0	0	1,005,192
退職給付費用	201,600	0	0	201,600
消耗品費	1,032,817	0	0	1,032,817
会議費	5,448,581	0	0	5,448,581
印刷製本費	6,571,128	0	0	6,571,128
広告宣伝費	15,825	0	0	15,825
賃借料	2,760,514	0	0	2,760,514
保険料	14,670	0	0	14,670
租税公課	446,700	0	0	446,700
支払負担金	263,076	0	0	263,076
諸謝金	3,779,796	0	0	3,779,796
委託費	2,612,335	0	0	2,612,335
支払手数料	2,831,186	0	0	2,831,186
減価償却費	443,449	0	0	443,449
貸倒損失	399,360	0	0	399,360
雑費	19,000	0	0	19,000
管理費	0	4,141,103	0	4,141,103
給与手当	0	640,167	0	640,167
賞与	0	212,360	0	212,360
法定福利費	0	130,640	0	130,640
旅費交通費	0	717,664	0	717,664
通信運搬費	0	53,634	0	53,634
退職給付費用	0	22,400	0	22,400
消耗品費	0	32,105	0	32,105
会議費	0	3,765	0	3,765
賃借料	0	289,229	0	289,229
保険料	0	1,630	0	1,630
租税公課	0	3,200	0	3,200
水道光熱費	0	202,922	0	202,922
支払手数料	0	158,076	0	158,076
支払報酬料	0	869,000	0	869,000
諸会費	0	150,000	0	150,000
減価償却費	0	49,271	0	49,271
貸倒損失	0	599,040	0	599,040
雑費	0	6,000	0	6,000
経常費用計	39,457,998	4,141,103	0	43,599,101
評価損益等調整前当期経常増減額	830,590	24,560	0	855,150
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	830,590	24,560	0	855,150
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
リース資産除却損	221,040	24,560	0	245,600
経常外費用計	221,040	24,560	0	245,600
当期経常外増減額	△ 221,040	△ 24,560	0	△ 245,600
他会計振替前当期一般正味財産増減額	609,550	0	0	609,550
当期一般正味財産増減額	609,550	0	0	609,550
一般正味財産期首残高	6,669,467	76,132,930	0	82,802,397
一般正味財産期末残高	7,279,017	76,132,930	0	83,411,947
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	0	0	5,000,000
指定正味財産期末残高	5,000,000	0	0	5,000,000
III 正味財産期末残高	12,279,017	76,132,930	0	88,411,947

財務諸表に対する注記

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

1. 重要な会計方針
- (1) 固定資産の減価償却の方法
- リース資産・・・リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法を採用している。
- (2) 引当金の計上基準
- 退職給付引当金
- 職員の退職金支給に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
- 消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高
特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	448,000	672,000	448,000	672,000
名簿作成準備積立金資産	500,000	0	0	500,000
国際協力積立金資産	15,000,000	0	0	15,000,000
表彰事業積立金資産	4,200,000	0	0	4,200,000
○Ａ化積立金資産	8,380,000	0	1,310,000	7,070,000
○Ｒ事典積立金資産	4,000,000	0	0	4,000,000
近藤賞基金引当資産	7,000,000	0	0	7,000,000
公益事業充当資産	20,000,000	0	0	20,000,000
支部活動準備資産	13,500,000	0	0	13,500,000
企業事例交流会開催準備資産	4,000,000	0	0	4,000,000
リース資産	353,309	2,182,620	738,320	1,797,609
ホームページ改修費用準備資産	0	1,310,000	0	1,310,000
小 計	77,381,309	4,164,620	2,496,320	79,049,609
合 計	77,381,309	4,164,620	2,496,320	79,049,609

3. 特定資産の財源等の内訳
特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	672,000	(0)	(0)	(672,000)
名簿作成準備積立金資産	500,000	(0)	(500,000)	(0)
国際協力積立金資産	15,000,000	(0)	(15,000,000)	(0)
表彰事業積立金資産	4,200,000	(0)	(4,200,000)	(0)
○Ａ化積立金資産	7,070,000	(0)	(7,070,000)	(0)
○Ｒ事典積立金資産	4,000,000	(0)	(4,000,000)	(0)
近藤賞基金引当資産	7,000,000	(0)	(7,000,000)	(0)
公益事業充当資産	20,000,000	(5,000,000)	(15,000,000)	(0)
支部活動準備資産	13,500,000	(0)	(13,500,000)	(0)
企業事例交流会開催準備資産	4,000,000	(0)	(4,000,000)	(0)
リース資産	1,797,609	(0)	(1,797,609)	(0)
ホームページ改修費用準備資産	1,310,000	(0)	(1,310,000)	(0)
小 計	79,049,609	(5,000,000)	(73,377,609)	(672,000)
合 計	79,049,609	(5,000,000)	(73,377,609)	(672,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース資産	2,575,992	778,383	1,797,609
合 計	2,575,992	778,383	1,797,609

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
淡水会後援基金助成金	兵庫県立大学	0	120,000	120,000	0	—
秋季研究発表会	南山学園	0	1,000,000	1,000,000	0	—
国際会議開催支援助成金	兵庫県立大学	0	200,000	200,000	0	—
コンベンション開催補助金	姫路観光	0	85,728	85,728	0	—
合 計		0	1,405,728	1,405,728	0	

附属明細書

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

1. 特定資産の明細
財務諸表に対する注記に記載しているため、附属明細書での記載を省略している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	448,000	224,000	0	0	672,000

財産目録

令和 7年 2月28日現在

公益社団法人日本オペレーションズ・リサ

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等	金 額		
(流動資産)	現金 預金	手元保管		運転資金として	61,319		
		<振替預金>			3,622,440		
		ゆうちょ銀行		運転資金として	3,622,440		
		根津支店					
		<普通預金>			20,635,708		
		みずほ銀行根津支店		運転資金として	12,073,792		
		三井住友銀行		運転資金として	3,208,513		
		白山支店					
		三菱UFJ銀行		運転資金として	1,184,583		
		千駄木支店					
	みずほ銀行根津支店		運転資金として	4,168,820			
	未収会費	正会員		当年度会費の未収分	2,015,800		
		シニア会員		当年度会費の未収分	1,785,600		
		学生会員		当年度会費の未収分	200		
未収金				230,000			
				600,432			
前払金	梯明報社		当年度広告料の未収分	386,100			
	補助金等		未入金分	214,332			
前払費用				235,224			
				235,224			
預け金	サンチカビル		3月分事務所家賃	74,281			
	事務局		事務局保険料等	3,789,000			
	クレジット		未入金分	3,401,600			
	コンビニ		未入金分	387,400			
流動資産合計					31,034,204		
(固定資産) 特定資産							
				退職給付引当資産			672,000
					みずほ銀行 横山町支店	職員の退職給付の給付に備えるために積立 資産として管理されている預金	672,000
				名簿作成準備積立金 資産			500,000
					三菱UFJ銀行 千駄木支店	名簿作成のための積立資金	500,000
				国際協力積立金資産			15,000,000
					三菱UFJ銀行 千駄木支店	公益目的保有財産であり、運用益を研究・ 普及啓発事業で使用している	15,000,000
				表彰事業積立金資産			4,200,000
					みずほ銀行 根津支店	表彰事業のための積立資産	4,200,000
				〇A化積立金資産			7,070,000
					三井住友銀行 白山支店	備品等の〇A化のための積立資産	7,070,000
				〇R事典積立金資産			4,000,000
					みずほ銀行 根津支店	〇R辞典のための積立資産	4,000,000
				近藤賞基金引当資産			7,000,000
					みずほ銀行 根津支店	特定費用準備資金であり、研究・普及啓発事 業の近藤賞のための積立資産	7,000,000
公益事業充当資産			20,000,000				
	みずほ銀行 根津支店	公益目的保有財産であり、運用益を研究・ 普及啓発事業で使用している。	5,000,000				
	三菱UFJ銀行 千駄木支店	公益目的保有財産であり、運用益を研究・ 普及啓発事業で使用している。	15,000,000				
支部活動準備資産			13,500,000				
	みずほ銀行 根津支店	特定費用準備資金であり、研究・普及啓発 事業のための積立資産	13,500,000				
企業事例交流会開催 準備資産			4,000,000				
	みずほ銀行 根津支店	特定費用準備資金であり、研究・普及啓発 事業のための積立資産	4,000,000				
	複合機他		1,797,609				
	ホームページ改修費 用準備資産		1,310,000				
	三井住友銀行 白山支店	特定費用準備資金であり、研究・普及啓発 事業のための積立資産	1,310,000				
その他固定資産							
	保証金	サンチカビル	事務所の保証金	950,400			
固定資産合計					80,000,009		
資産合計					111,034,213		
(流動負債)							
				未払金	その他	その他	93,876
					日本年金機構他	社会保険料他	93,876
							232,312
				未払費用 前受金			4,268,097
					正会員	入会金の前受分	4,500
					学生会員	入会金の前受分	6,000
					会員等	翌年度シンポジウム参加費他	1,244,597
					会員等	翌年度春季研究発表会参加費他	3,013,000
							14,640,000
				前受会費	正会員	正会員会費の前受分	10,634,000
					学生会員	学生会員会費の前受分	290,000
					賛助会員A	賛助会員会費の前受分	2,660,000
					賛助会員B	賛助会員会費の前受分	768,000
					シニア会員	シニア会員会費の前受分	288,000
							61,542
	職員等	職員の源泉所得税の預かり分	17,765				
	講師等	講師謝金の源泉税預り分	33,058				
	公認会計士等	会計士事務所の源泉税預り分	10,719				
	未払消費税等	税務署	消費税の支払額	446,700			
流動負債合計					19,742,527		
(固定負債)							
				退職給付引当金 リース債務	職員	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	672,000
						2,207,739	
	ジャフ・ファイナンス	リース資産の支払残高	66,096				
	日立キャピタル	リース資産の支払残高	2,141,643				
固定負債合計					2,879,739		
負債合計					22,622,266		
正味財産					88,411,947		

監 査 報 告

2025年 4 月 4日

公益社団法人

日本オペレーションズ・リサーチ学会

会長 山 上 伸 殿

公益社団法人

日本オペレーションズ・リサーチ学会

監事

根 本 俊 男



監事

河 東 晴 子



私監事は、2024年 3 月 1 日から 2025年 2 月 28日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、アダムズ/堀井公認会計士事務所と連携し会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表（内訳表を含む）、正味財産増減計算書（内訳表を含む）、財産目録、財務諸表に対する注記）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実 は認められません。

(2) 財務諸表等及びその附属明細書の監査結果

財務諸表等及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

「2025-2026 年度新役員承認」の件

理事／監事	候補者	
理事	渡辺 隆裕	東京都立大学
理事	米沢 隆	日本アイ・ビー・エム(株)
理事	宮代隆平	東京農工大学
理事	八木恭子	東京都立大学
理事	成島 康史	慶應義塾大学
理事	廣津信義	順天堂大学
理事	笠原 正治	奈良先端科学技術大学院大学
理事	山下信雄	京都大学
監事	今堀 慎治	中央大学

役員および役員候補者の担当会務

役職	定数	2023～2024 年度役員 改選		2024～2025 年度役員 非改選		2025～2026 年度役員 候補者	
会長	1			山上 伸	東京ガス(株)		
副会長	3(2)	三好直人	東京工業大学			渡辺 隆裕	東京都立大学
		森永聡	日本電気(株)			米沢 隆	日本アイ・ビー・エム(株)
				猿渡 康文	筑波大学		
庶務	2(1)	宮川 雅至	山梨大学			宮代隆平	東京農工大学
				黒木 裕介	ヤマト運輸		
国際	1(1)	鵜飼 孝盛	防衛大学校			八木恭子	東京都立大学
研究普及	2(1)	林俊介	法政大学			成島 康史	慶應義塾大学
				山田 裕通	株式会社構造計画研究所		
編集	2(1)			牧野 和久	京都大学		
		関谷和之	成蹊大学			廣津信義	順天堂大学
会計	1(0)			塩野 直志	神奈川工科大学		
渉外	1(0)			塩田茂雄	千葉大学		
広報	1(0)			田中未来	統計数理研究所		
支部	1(1)	谷崎 隆士	近畿大学			笠原 正治	奈良先端科学技術大学院大学
大会	2(1)			岡村 寛之	広島大学		
		佐々木美裕	南山大学			山下信雄	京都大学
無任所	1(0)	鳥海 重喜	中央大学			欠員	
監事	2(1)			河東晴子	三菱電機(株)		
		根本 俊男	文教大学			今堀 慎治	中央大学

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

2025 年度事業計画書

事業番号: 公1(1本のみ)

事業の内容: オペレーションズ・リサーチの研究・普及啓発を行う事業

【研究発表会、シンポジウム等の開催】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究発表会、シンポジウム、OR セミナー、企業事例交流会等の活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究及び応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

□2025 年度計画

2024 年度の活動では、各種行事のリアル開催を通常形態とし、学会活動のより一層の活性化を行った。また、2022 年度から開始した学会の在り方についての議論を踏まえ、OR 学会の価値向上に向けた新たな取り組みを開始し、学会収支の改善や賛助会員数の増加につなげた。2025 年度は、これら OR 学会の価値向上に向けた取り組みを加速させ、正会員数の減少抑止にむすびつける。また、広く社会全般に対する情報発信を進め、OR 学会の社会的認知度のさらなる向上を目指す。

1 研究発表会

- ◇春季研究発表会:2025 年 3 月 6～7 日 成蹊大学
実行委員長 関谷 和之(成蹊大学)
- ◇秋季研究発表会:2025 年 9 月 11～12 日 広島大学
実行委員長 岡村 寛之(広島大学)

2 シンポジウム

- ◇春季シンポジウム:2025 年 3 月 5 日 成蹊大学
特別テーマ「数理最適化の新時代ー知のエコシステムと次世代の人材育成ー」
実行委員長 清見 礼(成蹊大学)
- ◇秋季シンポジウム:2025 年 9 月 10 日 広島大学
特別テーマ「未定」
実行委員長 林田 智弘(広島大学)

3 OR セミナー

年間 4 回開催

第 1 回 OR セミナー

- 開催日: 2025 年 5 月 22 日
- タイトル: 金融工学の広がりとビジネスへの応用
- コーディネータ: 戸城 正浩 ((株) 日本政策金融公庫)
- オーガナイザ: 芝田 隆志 (東京都立大学)

第2回 OR セミナー

- 開催日: 2025 年 7 月 19 日
- タイトル: 物流と OR
- コーディネータ: 塚本 潤 (日鉄ソリューションズ(株))
- オーガナイザ: 渡部 大輔 (東京海洋大学)

第3回 OR セミナー

- 開催日: 2025 年 10 月
- タイトル: Python による数理最適化
- コーディネータ: 神山 直之 (九州大学)
- オーガナイザ: 神山 直之 (九州大学)

第4回 OR セミナー

- 開催日: 2025 年 12 月
- タイトル: DEA (データ包絡分析法)のツール
- コーディネータ: 高澤 兼二郎 (法政大学)
- オーガナイザ: 杉山 学 (群馬大学)

4 企業事例交流会

- ◇春季研究発表会において開催:2025 年 3 月 6 日 成蹊大学
- ◇秋季研究発表会において開催:2025 年 9 月 11~12 日 広島大学

【機関誌、論文誌の刊行】

□事業の趣旨・内容

本事業は、機関誌、論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究及び応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

□2025 年度計画

1 機関誌

- ◇発行回数: 毎月 1 回 年 12 回
- ◇発行号:70 巻 3 号~71 巻 2 号

2 論文誌

- Journal of the Operations Research Society of Japan (英文論文誌)
 - ◇発行回数: 年 4 回
 - ◇発行号: 68 巻 2 号~69 巻 1 号
- Transactions of the Operations Research Society of Japan (和文論文誌)
 - ◇発行回数: 年 1 回
 - ◇発行号:68 巻

【研究部会による調査研究とその公表活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究部会による調査研究とその公表活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究及び応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

調査研究にあたっては、専門の研究部会を設置し、主査・幹事が中心となり研究希望者を公募して行う。

□2025 年度計画

〈常設部会〉

A	常設部会名	主 査	幹 事
1	待ち行列	増山 博之(東京都立大学)	佐久間 大(防衛大学校) 小林 正弘(東海大学)
2	数理計画(RAMP)	田村 明久(慶應義塾大学)	田中 未来(統計数理研究所)
3	評価の OR	伊豆永 洋一(九州大学)	王 緒(群馬大学)
4	意思決定法	法雲 俊栄(同志社大学)	飯田 洋市(公立諏訪 東京理科大学)
5	サプライチェーン戦略	伊倉義郎((株)サイテック・ジャパン)	草刈 君子

〈部会〉

B	部 会 名	主 査	幹 事
1	ヘルスケアの OR	土谷隆(政策研究大学院大学)	小笠原 悠(東京都立大学) 伊藤 真理(神戸大学)
2	確率最適化とその応用	堀口 正之(神奈川大学)	王 琦(長崎総合科学大学)
3	信頼性の理論と応用	水谷 聡志(愛知工業大学)	岡村 寛之(広島大学) 今泉 充啓(愛知学泉大学) 木村 充位(愛知大学)
4	カーボンニュートラルに向けたエネルギーと OR	進士 誉夫(ベスタス・ジャパン株式会社)	池上 貴志(東京農工大学)
5	社会安全と OR	佐久間 大(防衛大学校)	鵜飼 孝盛(防衛大学校)
6	最適化の理論とアルゴリズム(RAOTA)	林 俊介(法政大学)	藤井 海斗(国立情報学研究所)
7	ビッグデータを用いたマーケティング分析	横山 暁(青山学院大学)	朝日 弓未(東京理科大学) 大竹 恒平(上智大学)
8	社会と技術・システムのイノベーション	高嶋 隆太(東京理科大学)	鳥海 重喜(中央大学) 稲川 敬介(秋田県立大学)
9	歩行からみた空間設計と OR	田中 健一(慶應義塾大学)	長谷川 大輔(東京大学)

〈研究グループ〉

C	グループ名	主 査	幹 事
1	未来都市の OR	三浦 英俊(南山大学)	欧陽君顔(国立環境研究所)

【表彰活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、表彰活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究及び応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

□2025 年度計画

〈春季表彰〉 1 月末までに審査・承認予定

- | | |
|-------|-------|
| 1 業績賞 | 1 件予定 |
| 2 普及賞 | 2 件予定 |
| 3 実施賞 | 2件予定 |

〈秋季表彰〉 7 月末までに審査・承認予定

- | | |
|----------|---------|
| 1 研究賞 | 1 件予定 |
| 2 研究賞奨励賞 | 3 件程度予定 |
| 3 事例研究賞 | 3 件程度予定 |
| 4 論文賞 | 1 件予定 |
| 5 学生論文賞 | 5 件程度予定 |

以上

収 支 予 算 書

令和 7 年 3 月 1日から令和 8 年 2月28日まで

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引等消去	合計
	公 1	小 計			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
特定資産運用益	1,500		0	0	1,500
受取利息	1,500			0	1,500
受取入会金	108,000		0	0	108,000
受取正会員入会金収入	75,000		0	0	75,000
受取学生会員入会金収入	33,000		0	0	33,000
受取会費	21,499,600		4,904,000	0	26,403,600
正会員受取会費収入	14,346,000		4,904,000	0	19,250,000
学生会員受取会費収入	1,100,000		0	0	1,100,000
賛助会員受取会費収入	5,600,000		0	0	5,600,000
シニア会員受取会費収入	453,600			0	453,600
事業収益	15,249,200			0	15,249,200
受取販売収益	2,700,000			0	2,700,000
受取研究発表参加収入	4,000,000			0	4,000,000
受取参加料	4,300,000			0	4,300,000
受取広告料	3,300,000			0	3,300,000
受取掲載料	60,000				60,000
受取著作権料	289,000			0	289,000
受取購読料	600,000				600,000
雑収益（受取利息）	200				200
経常収益計	36,858,300	36,858,300	4,904,000	0	41,762,300

(2) 經常費用					
事業費	41,321,000	41,321,000		0	41,321,000
給与手当	5,832,000	5,832,000		0	5,832,000
賞与	1,908,000	1,908,000		0	1,908,000
法定福利費	1,100,000	1,100,000		0	1,100,000
福利厚生費	20,000	20,000		0	20,000
旅費交通費	900,000	900,000		0	900,000
通信運搬費	850,000	850,000		0	850,000
退職給付費用	333,000	333,000		0	333,000
消耗品費	900,000	900,000		0	900,000
会議費	4,100,000	4,100,000		0	4,100,000
印刷製本費	7,000,000	7,000,000		0	7,000,000
賃借料	3,230,000	3,230,000		0	3,230,000
保険料	20,000	20,000		0	20,000
広告宣伝費	4,050,000	4,050,000			4,050,000
支払負担金	260,000	260,000			260,000
諸謝金	4,300,000	4,300,000		0	4,300,000
委託費	2,700,000	2,700,000		0	2,700,000
支払手数料	3,300,000	3,300,000		0	3,300,000
減価償却費	250,000	250,000		0	250,000
貸倒損失	268,000	268,000			268,000

管理費			4, 904, 000	0	4, 904, 000
給与手当			648, 000	0	648, 000
賞与			212, 000	0	212, 000
法定福利費			120, 000	0	120, 000
福利厚生費			5, 000	0	5, 000
旅費交通費			1, 000, 000	0	1, 000, 000
通信運搬費			50, 000		50, 000
退職給付費用			37, 000		37, 000
消耗品費			15, 000	0	15, 000
会議費			25, 000	0	25, 000
賃借料			324, 000	0	324, 000
広告宣伝費			450, 000	0	450, 000
保険料			2, 000	0	2, 000
租税公課			20, 000	0	20, 000
水道光熱費			200, 000	0	200, 000
支払手数料			220, 000	0	220, 000
支払報酬料			970, 000	0	970, 000
諸会費			170, 000	0	170, 000
減価償却費			24, 000	0	24, 000
貸倒損失			402, 000		402, 000
雑費			10, 000	0	10, 000
經常費用計	41, 321, 000	41, 321, 000	4, 904, 000	0	46, 225, 000
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 4, 462, 700	△ 4, 462, 700	0	0	△ 4, 462, 700
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期經常増減額	△ 4, 462, 700	△ 4, 462, 700	0	0	△ 4, 462, 700

2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 4,462,700	△ 4,462,700	0	0	△ 4,462,700
当期一般正味財産増減額	△ 4,462,700	△ 4,462,700	0	0	△ 4,462,700
一般正味財産期首残高	9,469,467	9,469,467	76,132,930	0	85,602,397
一般正味財産期末残高	5,006,767	5,006,767	76,132,930	0	81,139,697
Ⅱ 指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0	0	5,000,000
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0	0	5,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高	10,006,767	10,006,767	76,132,930	0	86,139,697